



出荷準備中の
地震ネットワークシステム

ドミニカ共和国に防災システム出荷

ドミニカ共和国地質庁(Servicio Geologico Nacional)へ構造物用地震検知システムと地震ネットワークシステムを納入するプロジェクトを進めています。

これは日本政府・JICSのノン・プロジェクト無償資金協力の案件で、双葉インターナショナル株式会社様・株式会社赤尾様の協力のもと、2017年10月出荷することができました。構造物用地震検知システムは、ドミニカ共和国地質庁本局ビルに設置する3台の地震計で構築され、地震ネットワークシステムは同国内各地10観測点の地震情報を地質庁本局で収集・蓄積し、震源とマグニチュードを計算するシステムです。

中南米で大規模地震が多発するなか、明星電気の地震観測システムが2018年1月以降に同国で運用される予定です。

(担当: 気象防災事業部)



月周回衛星「かぐや」イメージ画像

「かぐや」月の地下に巨大な空洞を確認

宇宙航空研究開発機構(JAXA)様が、10月に月の地下空洞(溶岩チューブ)の発見を発表しました。2009年、月周回衛星「かぐや」の観測により直径50m、深さ50mの縦孔が発見されていましたが、縦孔が見つかったマリウス丘における、「かぐや」搭載月レーダサウンダー(LRS)観測データの解析により、縦孔から約50km程度つながっている地下空洞(溶岩チューブ)の存在が確認されました。この月レーダサウンダーは当社が開発を担当したセンサーで、今回の地下空洞の発見は、科学的にも将来の月探査においても非常に大きな意義を持つとされています。

明星電気の観測機器が宇宙の新たな発見に貢献しています。

(担当: 宇宙防衛事業部)



けんせつフェア北陸(上)と
協立グループ展示ブース(下)

けんせつフェア北陸と協立グループ展に出展

11月1日、2日、新潟市の産業振興センターにおいて、けんせつフェア北陸in新潟2017が開催されました。『生産性革命を支える建設技術』をキャッチフレーズに、産・学・官152機関の優れた建設技術を集め、情報交流の場と広報を目的として、明星電気も千代田機電株式会社様のご協力のもと、POTEKAを展示しました。

また11月2日、ツインメッセ静岡において協立グループ展2017in静岡が開催され、当社はIHI中部支社、IHI汎用ボイラ静岡営業所と共同で、QCASTシリーズ受信装置S704と受信ユニットS740、制御用地震計S401-PSCを展示しました。盛況を博し、IHIグループブースにも多くの来場者があり、関心の高さがうかがえる質問をいただきました。

明星電気はこれからも防災製品を通じて、地域の安全・安心に貢献していきます。

(担当: 関西支店、中部営業所、気象防災事業部)

Sensing & Communication

私たちは、独自の Sensing & Communication 技術により革新的な商品・サービスを創造し

安全・安心な社会の発展に貢献していきます。